

## 特別展示

# 「日本とスペイン―外交史料に見る交流史―」について

外務省では、年に一回、外交史料館別館展示室において、外務省周年事業や外交史上の重要事件・人物にちなんだ特別展示を開催している。

二〇一三年（平成二五年）は、「日本スペイン交流四〇〇周年」（慶長遣欧使節派遣四〇〇周年）を記念して、在日スペイン大使館と共催により、日本とスペインの交流を外交史料で振り返る特別展示を開催した（開催期間…二〇一三年七月二日～二〇一四年五月八日）。

主な展示史料は、明治元年（一八六八年）に日本とスペインが外交関係を樹立した際に結ばれた「大日本国西班牙国条約書」（調印書、



日本側批准書、スペイン側批准書）、その後、スペインに送られた日本の外交使節の記録、スペイン国王アルフォンソ一二世より明治天皇に宛てられた国書、バルセロナ万国博覧会

に関する記録、高松宮同妃両殿下のスペインご訪問に関する記録、日独伊三国防共協定へのスペイン参加に関する議定書、明仁皇太子殿下（現在の天皇陛下）スペインご訪問に関する記録などである。また、在日スペイン大使館より、伊達政宗がセビリア市宛てに送った書状のレプリカを出展していただいた他、昭和戦前期にスペインの公文書館で調査され、外務省に送付された徳川家康書状の写真など、前近代の日本とスペインの交流を示す関係史料も展示した。この他、二〇一三年六月に世界記憶遺産に登録された「慶長遣欧使節関係資料」（仙台市博物館所蔵）や、外交使節等の訪問先の写真、スペイン全土地図をパネルにして展示・紹介した。

なお、本展示開催にあたり、以下の機関にご協力いただいた。ここに記して感謝申し上げます。

スペイン政府観光局、仙台市博物館、宮内庁三の丸尚蔵館、公益財団法人高松宮妃癌研究基金、千葉県夷隅郡御宿町役場

本特別展示の展示史料解説は以下の通り。なお、同解説は外交史料館ホームページ内のコンテンツ「特別展示・企画展示アーカイブス」にも掲載されている。

○外交史料館HP 「特別展示・企画展示アーカイブス」

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/annai/honsho/shiryo/archive.html>

## 「日本とスペイン―外交史料に見る交流史―」〈展示史料解説〉

### はじめに

一六二三年（慶長一八年）、仙台藩主伊達政宗は、大御所（前征夷大将軍）徳川家康の許可を得て、スペインに向けて支倉常長を大使とする使節を派遣しました（慶長遣欧使節）。支倉一行は、日本人として初めて太平洋と大西洋を横断し、翌一六一四年にスペインに到着し、国王フェリペ三世（Felipe III）への謁見を果たしています。支倉はスペインにおいて洗礼を受けてキリスト教徒となり、その後、ローマを訪問して教皇パウロ五世（Paulus V）に謁見しました。一行の目的は、通商関係の樹立等にあつたとされています。彼らはスペインに対する日本からの最初の公式な使節であり、その派遣は日本・スペイン関係の端緒となる重要な出来事として歴史に刻まれています。

日本・スペイン両国は、慶長遣欧使節の派遣から四〇〇周年に当たる二〇一三年から二〇一四年にかけて「日本スペイン交流四〇〇周年」として幅広い分野で交流事業を実施します。

外交史料館と在日スペイン大使館が主催する本特別展示では、四〇

〇年にわたる日本とスペインの交流を外交史料で振り返ります。また、仙台市博物館のご協力を得て、今般、世界記憶遺産に登録された「慶長遣欧使節関係資料」についてもパネル等にてご紹介します。

本展示が日本とスペインの相互理解促進の一助となれば幸いです。

### 特別出展 伊達政宗よりセビリア市宛書状（レプリカ）

スペイン大使館提供（原本はセビリア市文書館所蔵）

慶長遣欧使節に関する資料として、伊達政宗がセビリア市宛に送った書状のレプリカを在日スペイン大使館から今回出展していただきました。

この書状は、一六一四年一月二七日、支倉常長からセビリア市長に捧呈されました。書状には、使節に同行した宣教師ルイス・ソテロ（Luis Sotelo）が仙台藩にキリスト教を伝え、その素晴らしさを理解したので、キリスト教徒になることを希望する。そこで、スペイン国王とローマ教皇にこちらの願いが叶うように依頼するため、ソテロに頼み、支倉常長を遣わしたこと。また、セビリア市は繁栄しており、格別に重要に思っているので、毎年日本からセビリアに渡航させたいことなどが記されています。

### I 外交関係の樹立

一六一二年（慶長一七年）、徳川幕府は直轄領に対して、キリスト教

の信仰を禁止する法令（禁教令）を發布し、慶長遣欧使節が派遣された三ヶ月後の一六一四年には、その法令を全国に及ぼしました。そして、一六二四年（寛永元年）には、スペイン船の来航を禁止しました。それから二〇〇年以上、日本とスペインとの間の交流は途絶えていましたが、一八五三年（嘉永六年）のペリー来航をきっかけに日本が開国すると、一八六八年十一月二日（明治元年九月二十八日）、日本とスペインの間で「大日本国西班牙国条約書」が調印され、両国の間に外交関係が樹立されました。

**展示史料1-1 大日本国西班牙国条約書（調印書）**

神奈川において、日本側全権ひがしくぜみちとみ東久世通禧外国官副知事、寺島宗則てらしまむねのり外国官判事、井関盛良いせきもりとあ外国官判事、スペイン側ケベード（Jose Heriberto Garcia de Quevedo）在清国及安南国特命全権公使が調印。

**展示史料1-2 大日本国西班牙国条約書（日本側批准書）**

**展示史料1-3 大日本国西班牙国条約書（スペイン側批准書）**

**II スペインへの外交使節派遣**

一八七一年（明治四年）、日本政府は、岩倉具視いわたらとみ右大臣を全権大使とする使節団を欧米に派遣しました。目的は、日本が条約を結んだ各国への国書の捧呈と条約改正交渉、そして各国の制度・文物の視察・調

査でした。岩倉使節団は当初、スペインへの訪問も予定していましたが、スペインでは、革命が起こり、女王イサベル二世（Isabel II）がフランスに亡命するなど、混乱が続いていたため、訪問を見送りました。

その後、革命が収束し、一八七四年二月にアルフォンソ一二世（Alfonso XII）が新国王として即位すると、在日スペイン公使からスペインへの使節派遣の申し入れがあり、日本側もこれに応じて、一八七六年、上野景範うののかげのり在英国公使を特使として派遣することになりました。

上野公使は書記官二名、通訳一名、従者一名の総勢五名でスペインに向かいました。後に上野が作成した報告書には、特使としてロンドンを出発し、再び帰着した一八七六年三月一日から五月一六日まで、そのことが日記風に記録されています。スペインの革命収束から間もない時期であったため、鉄道や橋梁が破壊されており、マドリードに至るまでに大変苦勞したことや、マドリードで国王アルフォンソ一二世に歓待を受けたことなどが記されています。

上野公使は、一八七六年四月一日にアルフォンソ一二世に国書を捧呈しました。国王は、明治天皇からの国書を受領すると、スペイン語で応答し、公式儀礼が終わると、玉座をおりて、上野の手を取り、英語で親しく話しかけられました。上野は、国王は年齢は若いですが、容貌には威徳が備わり、温和である。また、英仏に遊学していたため、両国語を自在に操り、英明な君主と言われていると記録しています。

その後、上野公使訪問への謝辞として、アルフォンソ一二世より明治天皇に国書が送られました。

## スペインへの外交使節(上野公使)日程表

| 年月日         | 行動   |
|-------------|--|
| 1876年3月13日  | ロンドンを出発。   |
| 3月14日       | パリに到着。在仏スペイン公使、ポルトガル公使、英国公使を訪問。  |
| 3月15日       | 在仏スペイン公使、ポルトガル公使、英国公使が上野の宿へ答礼訪問。   |
| 3月16日       | パリを出発。スペインとの国境の町ポーにおいてスペイン国内の様子を調査。内乱のため、鉄道、橋梁が破壊されているとの情報を得る。                                 |
|             | 軍用鉄道復旧を待つために、ビアリッツに逗留。   |
| 3月22日       | 軍用鉄道復旧。ビアリッツを出発。   |
| 3月23日       | ブルゴスに宿泊。   |
| 3月24日       | ワルトレドに宿泊。  |
| 3月25日       | 晩にマドリッドに到着。  |
| 3月27日       | 鈴木金蔵書記官らがスペイン外務省を訪問し、上野公使到着を報告。<br>上野公使からスペイン外務卿に宛てた書簡を手交。                                     |
| 3月28日       | スペイン外務卿より上野公使宛に書簡が届き、29日に面会との連絡がくる。  |
| 3月29日       | 上野公使、外務卿に面会。国王への謁見儀礼について確認。  |
| 3月30日       | 4月1日午後3時に国王への謁見が決定。  |
| <b>4月1日</b> | <b>スペイン国王アルフォンソ12世に謁見。明治天皇の国書を捧呈。</b><br>晩には大統領から晩餐会への招待を受ける。皇族や各国公使が同席。<br>以後数日、各国公使や政府要人と面会。 |
| 4月5日        | 告別謁見について外務省で相談。<br>国王の招待により観劇。   |
| 4月8日        | 工芸博物館の開業式に参列。告別謁見の日程が13日に決定。   |
| 4月13日       | 洗足式(国王が貧しい人を招き足を洗う儀式)に招待される。<br>国王に告別の謁見を行い、賞牌を賜わる。<br>晩にマドリッドを出発。<br>コルドバ、セビリア、グラナダ、バダホスを訪問。  |
| 4月24日       | ポルトガルの首都リスボンに到着。   |
| 5月12日       | リスボンを出発。海路ロンドンへ。   |
| 5月16日       | ロンドンに帰着。   |

【展示史料2】

スペイン・ポルトガルへの使節派遣に関する決裁文書

【展示史料3】

上野景範公使作成のスペイン訪問に関する報告書

【展示史料4】

スペイン国王アルフォンソ一二世より明治天皇宛国書

和訳（大意）

スペイン国王ドン・アルフォンソ一二世より謹んで日本国天皇陛下に書簡を呈します。

このたび、上野景範公使より、天皇陛下が同公使を我が宮廷に派遣する旨を命じた勅書を受領いたしました。同公使が天皇陛下の名を以て、私に述べた誠実懇親の情は、実に、スペインと日本の間に存する善良な交際がますます発展することを願う私の考えに合致します。日本国の公使が我が宮廷に初めて来たことは、将来、両国の交際が進捗するための大きな力となることは疑いのないことです。そして、上野公使は非常に篤実であり、私は同公使を大変重要に思っております。

このたび、我が国の内乱が収束したことにつき、祝詞を賜り、殊に我が国の幸福繁栄を祈念して下さったことは、感激に堪えません。私もまた、天皇陛下並びに貴国人民のために、同様の念を持つことを表明いたします。私は常に天皇陛下並びに貴国人民の幸福を天に祈り、絶えざる進歩があることを心よりお祈り申し上げます。

一八七六年四月二四日 マドリードの宮殿にて

アルフォンソ

III バルセロナ万国博覧会への参加

一八八七年（明治二〇年）一月、在日スペイン公使より、バルセロナにおいて万国博覧会を開催するので、日本からも出品してほしいとの連絡がありました。日本政府は同年二月、スペイン公使へ同博覧会への参加を決定したことを通知しました。博覧会は当初、同年九月開会の予定でしたが、規模を拡大するために延期となり、翌一八八八年四月から一二月まで開催されました。

五月二〇日には、当時二歳であった国王アルフォンソ一三世（Alfonso XIII）が、摂政を務めていた国王の母であるマリア・クリステイーナ王太后（Maria Cristina）とともに出席し、開場式が行われました。王太后が日本の陳列場をご覧になった際には、出品依託引受人である松尾儀助（まつおぎすけ起立工商会社社長）より金銀や貝で装飾された漆塗りの書棚が献上されました。王太后は日本の出展品について、「美麗なる出品なり」と述べられたそうです。また、庭園内には、日本家屋が再現されていましたが、王太后のご来場に合わせ、祭日用の提灯、国旗、紙製の大鯉数尾を掲げたとの記録が残っています。

【展示史料5】 バルセロナ万国博覧会への参加について

いのうえかおる 井上馨外務大臣から在日スペイン公使宛公信。

【展示史料6】 バルセロナ万国博覧会会場図（予定図）

#### IV 高松宮同妃両殿下のスペインご訪問

一九三〇年(昭和五年)一月、高松宮宣仁親王殿下と喜久子妃殿下がスペインをご訪問されました。昭和天皇が即位された際に、スペイン国王より勲章が贈呈されましたが、昭和天皇はその答礼として、弟宮である高松宮殿下を名代としてスペインに遣され、スペイン国王アルフォンソ一三世に大勲位菊花章頸飾(最高位の勲章)を贈呈されました。

この時に、両殿下はブラダ美術館、古都トレド、アランフェス離宮、セビリヤ、コルドバ、グラナダ、バルセロナなど、スペインの多くの名所をご訪問されました。マドリッド王宮にある王室武器博物館をご見学された際には、支倉常長がスペイン国王に献上した甲冑の遺物(火災のため損傷)を興味深くご覧になったとの記録が残っています。

#### ◇日西墨三国交通発祥記念之碑

ところで、高松宮殿下ご訪問に先立つ一九二八年(昭和三年)、千葉県夷隅郡浪花村(現在の御宿町)の岩和田海岸(現田尻浜)に、日本とスペイン、メキシコの交通発祥記念碑が建立されました。

\*墨西哥メキシコ

これは、一六〇九年(慶長一四年)、フィリピン諸島長官であったドン・ロドリゴ・デ・ビベロ総督(Rodrigo de Vivero)を乗せたス

ペイン船サンフランシスコ号がメキシコ(当時スペイン領)に向かう途中、嵐に遭って岩和田海岸で沈没した際に、岩和田の人々が救助し、それをきっかけに日本とスペイン、メキシコとの交流が始まったことを記念して建立されたものです。岩和田の住民に救助された後、ドン・ロドリゴは將軍徳川秀忠や大御所徳川家康に謁見し、翌年メキシコに帰国しました。この出来事への謝意を伝えるため、一六一一年、メキシコからセバステイアン・ビスカイノ(Sebastian Vizcaino)が日本に派遣され、ビスカイノは支倉常長ら慶長遣欧使節と共にメキシコに帰国しました。

この記念碑建立にあたり、スペイン政府から五〇〇〇ペセタの寄付金が寄せられました。また、高松宮殿下ご訪問時のスペイン国王晩餐会における国王の歓迎の挨拶でも、本記念碑の建立は大変喜ばしいことであると言及されています。

**展示史料7** 高松宮同妃両殿下のスペインご訪問に関する報告書

**展示史料8** 日西交通発祥記念碑建立趣意書

**展示史料9** 記念碑建立に対するスペイン国政府よりの寄付金送付を知らせる公信



### 高松宮同妃両殿下スペインご訪問日程表

| 年月日          | 行動   |
|--------------|--|
| 1930年11月2日   | ビアリッツをご出発。イルン駅から、スペイン王室が用意した「ロイヤル・カー」<br>(パリ発スペイン行の急行列車に接続)に乗り換えられ、マドリードへご出発。                |
| <b>11月3日</b> | マドリードにご到着。駅にてスペインの王族の出迎えを受け、宮殿へ向かわれる。<br>国王アルフォンソ13世に謁見。菊花章頸飾御贈進式挙行。<br><b>国王主催の晩餐会へご出席。</b> |
| <b>11月4日</b> | <b>プラド美術館、王室武具博物館をご見学。</b><br>エル・エスコリアル修道院において、皇太后墓前に花環ご贈呈。<br>高松宮殿下主催晩餐会開催。                 |
| 11月5日        | トレドご訪問。エル・グレコの家屋をご見学。作品をご鑑賞。<br>大寺院(カテドラル)、武器製造所をご見学。  |
| 11月6日        | マドリードの古物博物館をご見学。アランフェス離宮をご観光。  |
| 11月7日        | リスボンに向けてご出発。   |
| 11月8日～11日    | ポルトガルご訪問。  |
| 11月12日～17日   | セビリア、コルドバ、グラナダ、バルセロナご訪問。   |
| 11月17日       | バルセロナにて、「東京通り」の命名式にご出席。フランスへご出発。   |

#### V スペイン内戦と日本

スペインでは一九三六年(昭和十一年)七月から一九三九年三月まで激しい内戦が続きました。一九三二年に王制から共和制へと移行したのち、一九三六年に左派の人民戦線が政権を握ると、フランシスコ・フランコ(Francisco Franco)を中心とする反乱軍が蜂起して内戦状態になりました。戦闘は人民戦線政府を支援するソ連や、反乱軍を支持するドイツ・イタリアを巻き込んで激しさを増し、マドリードの日本公使館は一時閉鎖されて、フランス国境に近いサンジャンドリューズへ移転しました。日本は内戦勃発時には、人民戦線政府と外交関係を維持していましたが、反乱軍が戦況を有利に進める中、一九三七年一月一日、フランコ政権を承認しました。その後、一九三九年三月二八日にマドリードが陥落し、フランコ政権は四月一日に内戦終結を宣言しました。また、スペインは一九三九年三月二七日、日独伊防共協定に参加しました。

#### 展示史料10 内戦勃発を知らせる電報(一九三六年七月一九日発)

モロッコやバルセロナで反乱軍が蜂起したことを、夏季を過ぎずサンセバスティアンで知った矢野眞公使やのまことが送った電報。混乱のため、この電報が東京の外務省に着いたのは八月九日。「大延着」と記されている。

**展示史料11** 信任状捧呈に関する矢野眞在スペイン公使報告

**展示史料12** スペイン国の共産インターナショナルに対する協定参加に関する議定書

共産インターナショナル(いわゆるコミンテルン)の活動を防遏する目的で日独伊三国が結んだ協定(日独伊防共協定)に対し、スペインが参加した議定書(四月八日公表)。

**展示史料13** 須磨弥吉郎在スペイン公使写真帳

## VI 外交関係の再開

一九三九年(昭和十四年)九月、第二次世界大戦が始まると、スペインは中立を宣言しました。その後、一九四五年四月一日にスペインが対日断交を通告して以降、日西間は国交が途絶えていましたが、一九五一年一〇月、在日スペイン外交代表アル・カステイヨ公使(Francisco J. del Castillo)より日本との外交関係再開につき申し出があり、協議の結果、サンフランシスコ平和条約発効の日(一九五二年四月二八日)をもって両国の外交関係を再開することになりました。外交関係を再開した翌一九五三年、皇太子明仁親王殿下(現在の天皇陛下)が、英国のエリザベス女王(Elizabeth II)の戴冠式に昭和天皇の名代としてご出席になり、その後、スペインをご訪問されました。

皇太子殿下は六月二二日にマドリッドにご到着されると、スペイン

国民に対してメッセージを送られました。そのなかで、スペインの明るく晴れた空と陽の光は極めて印象的で、スペインが明朗闊達な国であるとの感を深くしたこと、また誠意ある歓迎に深く感謝する旨を述べられました。その後、エル・エスコリアル、トレド、バルセロナ等、スペイン各地をご訪問されました。六月二八日にバルセロナで発表された告別のメッセージには、訪問を通して、スペインの歴史的偉大さを知り得たこと、また各地で官民により示された親愛をスペインの深い友情のしるしとして日本に持ち帰ることが記されています。

**展示史料14** スペインとの外交関係再開に関する情報文化局発表

**展示史料15** 皇太子殿下のスペインご訪問に関する報告書

**展示史料16** 皇太子殿下ご外遊写真帖



### 皇太子殿下スペインご訪問日程表

| 年月日          | 行動   |
|--------------|--|
| 1953年6月21日   | ビアリッツをご出発。サンセバステアンご訪問。市内ご見学後、市長主催の<br>午餐会にご出席。バスク舞踊ご観覧。フロントン(ペロタ競技場)ご見学。<br>晩にマドリードへご出発。 |
| <b>6月22日</b> | <b>マドリードにご到着。ホテルにおいてスペイン国民に対する<br/>メッセージをご朗読。</b> 市内ご見学。マドリード市主催午餐会にご出席。                 |
| 6月23日        | マドリード大学都市をご訪問。   |
| 6月24日        | パルド大統領宮殿においてフランコ総統とご会談。<br>洪澤信一在スペイン大使主催レセプションにご出席。                                      |
| 6月25日        | プラド美術館ご見学。フランコ総統主催午餐会にご出席。   |
| 6月26日        | エル・エスコリアルご訪問。王立修道院、王室墓所、最高評議室等をご見学。<br>マドリードに戻られ、スペイン・バレーをご観覧。                           |
| 6月27日        | トレドご訪問。エル・グレコの家屋をご見学。作品をご鑑賞。<br>トレド城塞廃墟、サント・トメ寺院、カテドラル等をご見学。<br>マドリードに戻られ、バルセロナへご出発。     |
| 6月28日        | バルセロナにご到着。スペイン国民に対する告別のメッセージご発表。<br>「少年の町」をご見学。フランスへご出発。                                 |

#### ◇両国の交流に関する文書を求めて

外交史料館には、幕末以降の外交に関する記録が保存されていますが、その中には、前近代の日本とスペインの交流を示す記録も含まれています。最後にこれらの文書をご紹介します。

一九三三年（昭和八年）七月、内田康哉うちだやすや外務大臣は各在外公館長に宛てて、任国内にある日本外交に関する史料の収集を命じました。その趣旨は、内外の外交史料の収集・充実を計り、これを永く保存・陳列して省員の参考に供するとともに、場合によっては、外交史料展覧会等を開催し、国民への外交知識の普及に役立てるというものでした。この訓令に従って、スペイン国内でも調査が行われ、一九三四年、青木新在あおきあらたスペイン公使は広田弘毅ひろたこうき外務大臣宛に、セビリアのインディアス公文書館に所蔵されている二通の書状の写を送付しました。送付されたのは、慶長一四年二月二十八日（二六一〇年一月二二日）付の徳川家康からレルマ公爵（Duque de Lerma）スペイン国王の寵臣）に宛てられた書状の写と、翌慶長一五年五月四日（一六一〇年六月二四日）付で將軍徳川秀忠がレルマ公爵に宛てた書状の写で、いずれも、スペイン船の日本への渡航を許可したものです。書状に名前が出てくる宣教師ルイス・ソテロは、通訳の役目も果たしていました。彼はこの後、伊達政宗と出会い、慶長遣欧使節の一員として、支倉常長に同行し、スペイン国王フェリペ三世やローマ教皇パウロ五世に謁見しました。

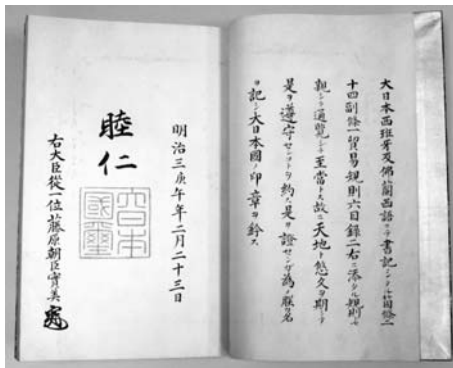
一九三五年には、シマンカス公文書館に所蔵されている支倉常長の書状の写真が送付されました。この書状は、慶長一九年八月二十六日(一六一四年九月二十九日)付で支倉常長がレルマ公爵に宛てた書状で、伊達政宗が藩内の者全員にキリスト教への改宗を命じたこと、常長にスペイン国王とローマ教皇に謁見し、宣教師の派遣を依頼するよう命じたことなどが記されています。

結果として、慶長遣欧使節の目的は達成されず、また日本国内でのキリスト教禁令のため、使節の記録は秘匿され、その存在は長い間、忘れられていました。しかし、明治維新後、岩倉使節団がイタリアで支倉常長の書状を発見したことで、再び世に知られるようになりました。そして、派遣から四〇〇年後の今日、彼らの業績は、日本とスペインの関係の基礎となり、両国を結びつける上で、大きな役割を果たしています。彼らが遺した「慶長遣欧使節関係資料」は、日本とスペインの共同推薦のもと、本年(二〇一三年)六月、世界記憶遺産に登録されました。

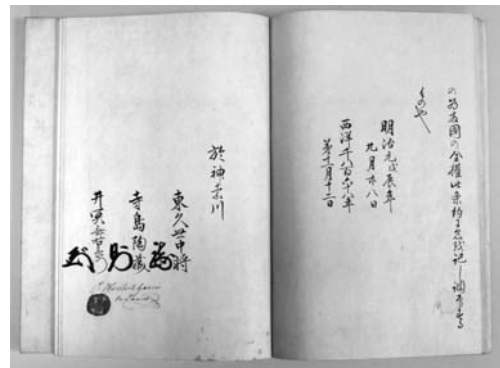
展示史料17-1 徳川家康からレルマ公爵宛書状の写

展示史料17-2 徳川秀忠からレルマ公爵宛書状の写

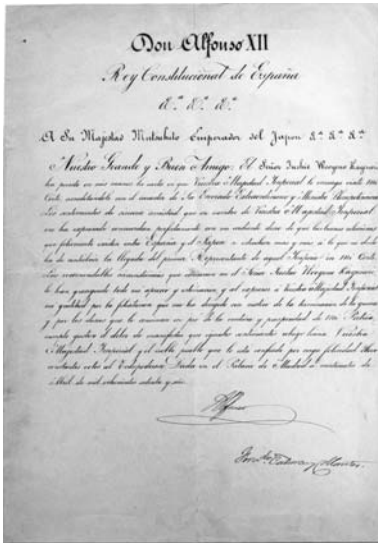
展示史料18 支倉常長からレルマ公爵宛書状の写真



【展示史料1-2】  
大日本国西班牙国条約書  
(日本側批准書)



【展示史料1-1】  
大日本国西班牙国条約書  
(調印書)



【展示史料 4】  
スペイン国王アルフォンソ12世より  
明治天皇宛国書



【展示史料1-3】  
大日本国西班牙国条約書  
(スペイン側批准書)



Ceremonia de colocación de la Primera piedra del Monumento, celebrada el día 7 de Noviembre de 1926.  
En el centro removiendo la tierra con la pala, S. E. D. Pedro Quartín, Ministro de Fomento en Japón, y a su lado de izquierda a derecha, S. E. el Sr. Conde K. Hironaka, S. E. el Contralmirante Sr. K. Moriyama y el Representante del Gobernador civil de la Provincia de Chiba.

【展示史料 8】  
日西交通発祥記念碑建立趣意書(スペイン語版)  
1926年(大正15年)11月7日挙行の定礎式の様子。  
鍬を手にしているのは、クワルチン(Pedro Quartín) 在日スペイン公使。

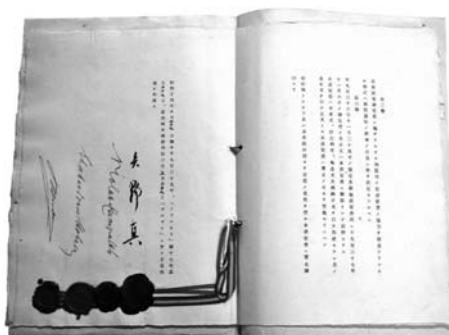


【展示史料 6】  
バルセロナ万国博覧会会場図  
(予定図)



【展示史料13】

須磨弥吉郎在スペイン公使写真帳より  
左から二人目が須磨在公使、三人目がフ  
ランコ。



【展示史料12】

スペイン国の共産インターナショナルに  
対する協定参加に関する議定書



【展示史料18】

支倉常長からレルマ公爵宛書状の写真



【展示史料17-1】

徳川家康からレルマ公爵宛書状の写

関係年表

| 和暦 | 西暦 | 日本・スペイン関係 | 国王     | スペイン国内                | 日本国内、一般事項等    |                |
|----|----|-----------|--------|-----------------------|---------------|----------------|
| 慶長 | 14 | 1609      | フェリペ3世 |                       | 幕府、直轄領に禁教令を発布 |                |
|    | 17 | 1612      |        |                       |               |                |
|    | 18 | 1613      |        |                       |               | 慶長遣欧使節、月ノ浦より出発 |
|    | 18 | 1614      |        |                       |               | 幕府、全国に禁教令を発布   |
| 元和 | 20 | 1615      |        |                       |               |                |
|    | 1  | 1615      |        |                       |               |                |
| 寛永 | 6  | 1620      |        |                       |               |                |
|    | 1  | 1624      | ペフェリ   |                       |               |                |
| 寛永 | 1  | 1624      |        |                       |               |                |
|    | 3  | 1868      |        |                       |               |                |
| 慶応 | 3  | 1868      |        |                       |               |                |
|    | 1  | 1868      | イサベル2世 | 革命勃発<br>イサベル2世フランスへ亡命 | 王政復古の大号令      |                |
| 明治 |    |           |        |                       |               |                |
|    |    |           |        |                       |               |                |
|    |    |           |        |                       |               |                |
|    |    |           |        |                       |               |                |
|    |    |           |        |                       |               |                |
|    |    |           |        |                       |               |                |
|    |    |           |        |                       |               |                |
|    |    |           |        |                       |               |                |
|    |    |           |        |                       |               |                |
|    |    |           |        |                       |               |                |
|    |    |           |        |                       |               |                |
|    |    |           |        |                       |               |                |
|    |    |           |        |                       |               |                |
|    |    |           |        |                       |               |                |
|    |    |           |        |                       |               |                |
|    |    |           |        |                       |               |                |
| 大正 | 3  | 1914      |        |                       |               |                |
|    | 12 | 1923      |        |                       |               |                |

| 和暦      | 西暦      | 日本・スペイン関係   | 国王                           | スペイン国内                              | 日本国内、一般事項等            |                |
|---------|---------|---|------------------------------|-------------------------------------|-----------------------|----------------|
| 昭和      | 3 1928  | 日西墨三国交通発祥記念之碑建立                                       | アルフォンソ13世                    |                                     |                       |                |
|         | 4 1929  | バルセロナ万国博覧会へ参加(民間)                                     |                              |                                     | 世界恐慌                  |                |
|         | 5 1930  | 高松宮同妃両殿下スペインご訪問                                       |                              |                                     |                       |                |
|         | 6 1931  |   |                              | アルフォンソ13世亡命                         | 満州事変                  |                |
|         | 11 1936 | マドリード日本公使館閉鎖  |                              | 第二共和政<br>人民戦線政府成立<br>スペイン内戦(~39年3月) |                       |                |
|         | 12 1937 | 日本政府、フランコ政権を承認  |                              |                                     | 盧溝橋事件 日中戦争(~45)       |                |
|         | 14 1939 | スペインが日独伊防共協定に参加                                       |                              | フランコ政権成立(~75)<br>第二次世界大戦 中立を宣言      | 第二次世界大戦(~45)          |                |
|         | 16 1941 |   |                              |                                     | 太平洋戦争(~45)            |                |
|         | 20 1945 | 国交断絶(4月11日)   |                              |                                     | ポツダム宣言受諾<br>降伏文書調印    |                |
|         | 22 1947 |   |                              | フランコ、終身国家元首に就任                      |                       |                |
|         | 23 1948 |   |                              | ファン・カルロス1世(現国王)<br>スペインに入国          |                       |                |
|         | 26 1951 |   |                              |                                     |                       | サンフランシスコ平和条約調印 |
|         | 27 1952 | 外交関係再開(平和条約発効日をもって再開)                                 |                              | ユネスコに加盟                             | サンフランシスコ平和条約発効(4月28日) |                |
|         | 28 1953 | 皇太子殿下(現天皇陛下)スペインご訪問                                   |                              |                                     |                       |                |
|         | 30 1955 |   |                              | 国際連合に加盟                             |                       |                |
|         | 31 1956 |   |                              |                                     |                       | 国際連合に加盟        |
|         | 39 1964 |   |                              |                                     |                       | 東京オリンピック開催     |
|         | 47 1972 | ファン・カルロス1世夫妻来日  |                              |                                     |                       |                |
|         | 48 1973 | 皇太子同妃両殿下スペインご訪問                                       |                              |                                     |                       |                |
|         | 50 1975 |   |                              | フランコ死去。ファン・カルロス1世即位(王政復古)           |                       |                |
|         | 52 1977 |   |                              | 総選挙の実施                              |                       |                |
|         | 53 1978 |   |                              | 新憲法制定。立憲君主制へ                        |                       |                |
|         | 55 1980 | スペイン国王夫妻来日  |                              |                                     |                       |                |
|         | 60 1985 | 皇太子同妃両殿下スペインご訪問                                       |                              |                                     |                       |                |
|         | 61 1986 |   |                              | EC加盟                                |                       |                |
|         | 平成      | 1 1989  |                              | スペイン国王夫妻来日(大喪の礼)                    | ファン・カルロス1世            |                |
| 2 1990  |         | フェリベ皇太子来日(即位の礼)                                       |                              |                                     |                       |                |
| 4 1992  |         | 皇太子殿下スペインご訪問(万博、五輪開会式)                                | バルセロナ五輪、セビア万博、新大陸到着500周年記念事業 |                                     |                       |                |
| 6 1994  |         | 天皇后両陛下スペインご訪問   |                              |                                     |                       |                |
| 10 1998 |         | スペイン国王夫妻来日(長野五輪開会式)                                   |                              | 長野オリンピック開催                          |                       |                |
| 13 2001 |         | 「慶長遣欧使節関係資料」国宝指定                                      |                              |                                     |                       |                |
| 16 2004 |         | 皇太子殿下スペインご訪問  |                              |                                     |                       |                |
| 17 2005 |         | フェリベ皇太子夫妻来日   |                              |                                     |                       |                |
| 20 2008 |         | 皇太子殿下スペインご訪問<br>スペイン国王夫妻来日                            |                              |                                     |                       |                |
| 25 2013 |         | 日本スペイン交流400周年<br>皇太子殿下スペインご訪問<br>「慶長遣欧使節関係資料」世界記憶遺産登録 |                              |                                     |                       |                |